

あなたの工場に

技術巡回アドバイザー

が来てくれます

無料で技術課題の解決を支援

「技術巡回アドバイザー」というものがあります。中小企業が抱える技術的な問題に、大阪府立産業技術総合研究所（＝以下産技研）のOBで、技術支援の経験豊富な4人が、依頼のあった企業を訪ねて無料で解決を図ってくれます。そのアドバイザーがすぐに処理できない、専門外といった場合は、多数の技術者を抱える同産技研につないで支援してもらえます。各地の商工会議所、自治体の協力で18年度から発足し、成果を上げています。まだ、府下全域に及んでいませんが北部ではかなりの地域で利用できます。

制度の趣旨

多くの中小企業が「新製品の開発をしたいがうまくいかん」「お客さんからの製品のクレームを解決できず困っている」などの問題を抱えています。そこで、大阪府商工労働部は「ものづくり中小企業が集まる地域に、産技研のOBである技術アドバイザーを配置し、それぞれの企業を訪ね歩くことで、新たな技術基盤の掘り起こしを図ろう」と計画、各市町村と商工会議所に働きかけ、平成18年度から協力して制度をスタートさせました。府が実施している「ものづくり基盤技術高度化支援事業」のひとつです。

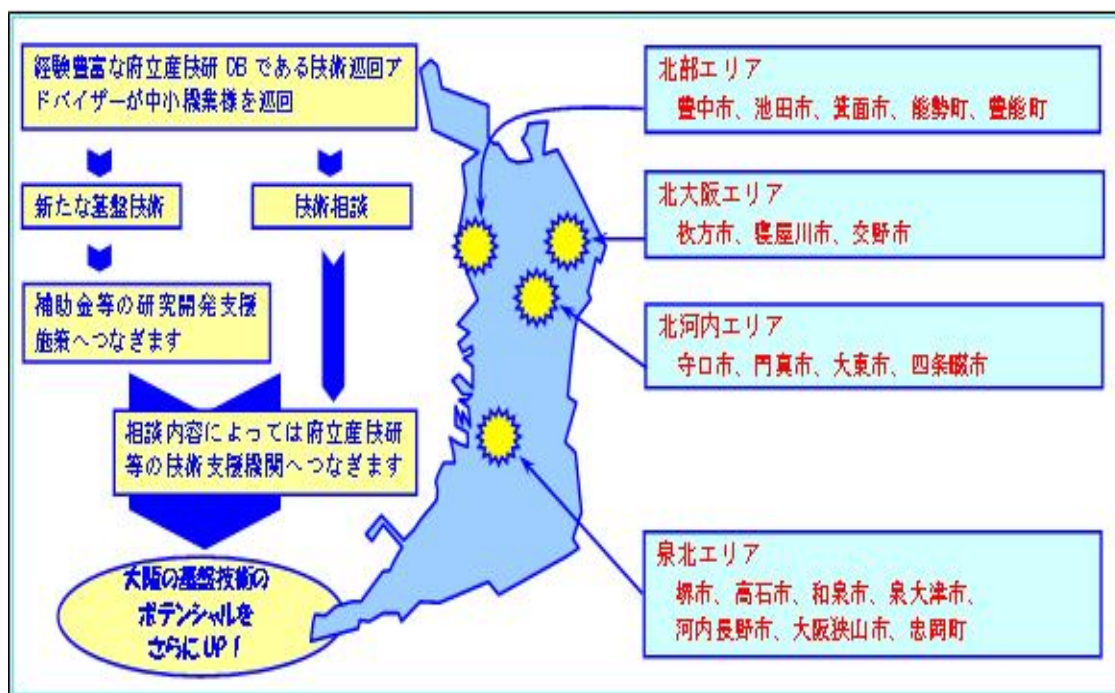
実地指導まで無料

その場で解決できない問題は、約140人の技術者を抱える産技研のほか、各種研究機関をつなげた技術支援ネットワークのなかで解決してゆきます。そして、新たな技術基盤の芽を見出した時には、補助金獲得などのサポートも行います。

技術巡回の料金は指導相談、実地指導まで無料です。但し、産技研の機械・設備を利用する▽依頼を受けて試験する▽受託研究する場合は有料になります。

実施区域

現在、この事業実施地域は、大阪府が協力を得られた商工会議所・市町村の4地域(次ページの表)。技術巡回アドバイザーは各地域1人ずつがエリアを決めて担当しています。産技研OBのなかでも長年の技術経験と人脈を持つ人たちということです。



(大阪府庁のホームページから)

4人のアドバイザーと担当地域は以下の通り(摂津水都信用金庫と弊社会員が関係しない泉北エリアは省略)。

北部エリア(豊中、池田、箕面、能勢、豊能)

北口 嘉亮(きたぐちよしあき)さん

機械加工分野の研究開発と技術支援業務に従事。

連絡先 豊中商工会議所(大阪豊能地域中小企業支援センター)

[TEL:06-6845-8004](tel:06-6845-8004)

北大阪エリア(枚方、寝屋川、交野)

入江 年優(いりえとしまさ)さん

熱燃料や省エネなどの研究開発、技術相談(実地指導等)に従事。

豊富な経験と人脈を生かしたアドバイスが可能。

連絡先 北大阪商工会議所(北大阪地域支援センター)

[TEL:072-843-5302](tel:072-843-5302)

北河内エリア(守口、門真、大東、四條畷)

平川 裕三(ひらかわゆうぞう)さん

府立産技研で電子部品・装置の信頼性、情報管理、ならびに技術者研修、技術相談等に関する業務に従事。産技研との連携も積極的。

連絡先 守口門真商工会議所（大阪北河内地域中小企業支援センター）

[TEL:06-6909-3003](tel:06-6909-3003)

中小企業が集積している東大阪市、八尾市は独自の技術巡回派遣事業を実施。大阪市内では市立工業試験所や「あきない・えーど」（web 技術相談）で技術相談にに応じていますが、技術者が工場などを巡回指導する事業はありません。高槻、茨木、吹田の3市ではこの連携組織は出来ておらず、これら地域の中小企業者は利用できません。

利用は 330 件を超える(18 年度)

大阪府庁商工労働部ものづくり支援課技術交流グループの岡田一郎主査は「平成 18 年度の巡回件数は 335 件でした。19 年度は 500 件に伸ばしたい。一応 3 年間の事業ですが、さらにエリアも増やしてゆきたいと考えています」と話しています。

なお、先に述べた大阪府の基盤技術高度化支援事業というのは、めっき、鋳造、金属プレス加工など優れた基盤技術の開発等の取り組みに対し、経費の一部を助成するもので、一案件あたり 500 万円以内となっています（補助率は 2 分の 1 以内）。

技術開発や製品クレームの解決に頭を痛めている経営者は一度、利用されてはいかがでしょうか。

○事業全体についての問い合わせは以下へ

大阪府商工労働部商工振興室ものづくり支援課技術支援グループ

TEL:06-6941-0351⇒内線 2603、2604。

E-mail:syokoshinko-g19@box.pref.osaka.lg.jp

まとめ、株式会社大阪彩都総合研究所
主任研究員 橋本 剛